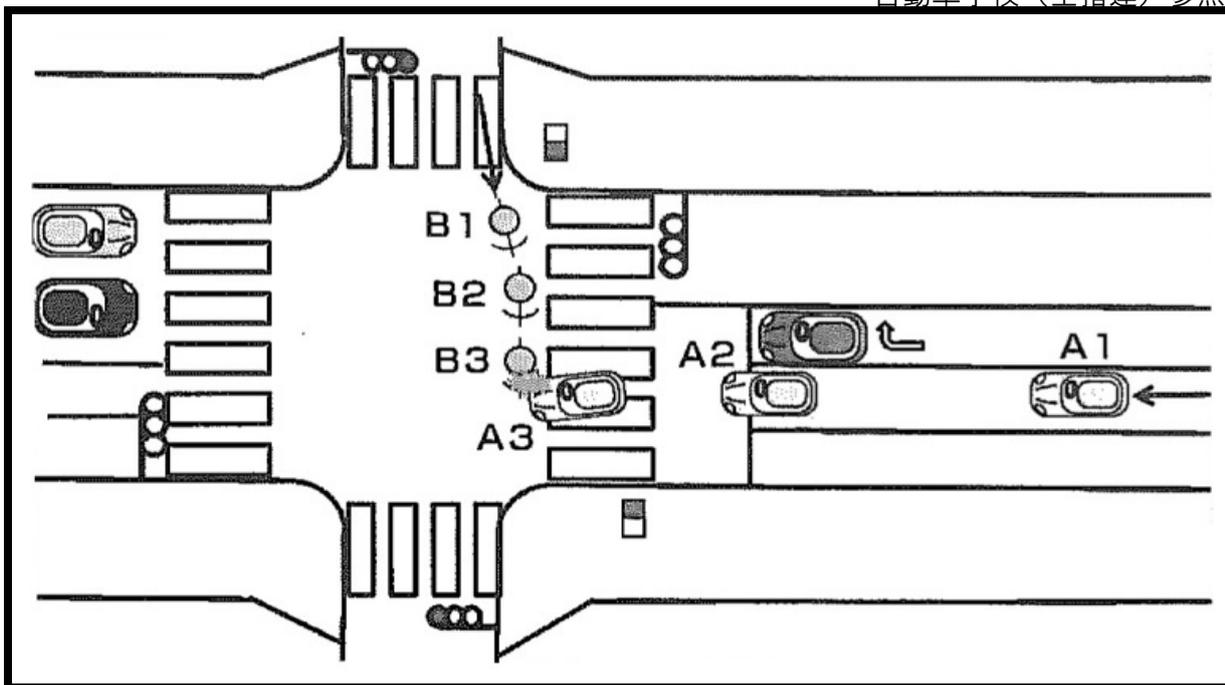


■事故の概況

自動車学校（全指連）参照



事故類型：出会い頭

発生日時：3月 午後0時台 晴れ

当事者A：普通乗用車 30歳代 男性

当事者B：自転車 20歳代 男性

■ 事故の概要

Aは片側2車線の第2車線を時速約60kmで進行中、交差点手前で対面信号が赤信号であったことから、ブレーキをかけ、一旦時速約40kmまで減速しましたが、信号が赤から青に変わったので、時速約50kmに加速しました。視線を前方だけに集中し進行したところ、交差点直前で右から左に横断してきたB自転車を発見し、危険を感じてハンドルを左に切りながら、急ブレーキをかけましたが、間に合わず衝突しました。

Bは、先行する友人の自転車の後方約20mを進行中、先行する友人が交差点の横断歩道を渡り終えた時点で交差点に差し掛かり、前方の歩行者用信号機が赤に変わるのを見ましたが、交差道路の車が停止していたので、急いで横断を開始しました。

横断中に左方から直進してきたAを発見し、急ブレーキをかけましたが、間に合わず衝突し、転倒しました。

■ 事故から学ぶ

信号の変わり目は、交差点に無理に進入してくる歩行者、自転車等もあるため、自動車は、例え自分の方が青だったとしても、交差点に進入する際に「横断する者はいないか」等と注意を払うべきでした。

また、Aは赤信号を見て一旦減速しているのですから、例え青信号に変わっても、直ぐに加速するのではなく、交差点内の安全を確認してから進行していれば事故を防げたかもしれません。